

第2回 葉山町介護保険事業計画等運営委員会・ 葉山町地域密着型サービス運営委員会 議事録

日時：令和7年12月4日(木)13:00～14:40

場所：葉山町役場 3階 協議会室 2

委員会の次第

- 1 あいさつ
- 2 第9期 葉山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況
- 3 令和6年度の地域密着型サービスの実績報告および令和7年度の進捗状況について
- 4 施設整備計画の見直しについて
- 5 第10期計画策定に向けたアンケート調査について
- 6 今後の委員会スケジュールについて
- 7 その他

配布資料

- 資料1 第9期における各事業の実績報告について（令和6年度実績）
資料2 葉山町の地域密着型サービス事業所の状況について
資料3 第10期介護保険事業計画の作成に向けた各種調査について
資料4 第9期(令和6～令和8年度)介護保険事業計画等運営委員会スケジュール（案）
参考資料 第10期介護保険事業（支援）計画の作成準備について（厚生労働省資料）

出席者等（敬称略）

- 会長…… 玉川 淳
副会長…… 岩崎 仁彦
委員…… 木内 シヅ、相澤 寶子、加茂 公隆、松尾 博樹、中野 徹、宮川 康代
8名出席
事務局…… 佐野福祉部長、内田福祉課長、中込課長補佐、和田主任

議事概要

内田福祉課長：本日はお忙しい中、本委員会にご出席をいただきまして、ありがとうございます。第2回葉山町介護保険事業計画等運営委員会を開催させていただきます。本日進行を務めます福祉課長の内田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

前回は令和7年1月に第9期第1回の本委員会を開催いたしました。その中で委員長を玉川先生、副委員

長を岩崎先生に就任いただきました。議題 1 のあいさつ・自己紹介まで事務局で議事を進行させていただき、議題 2 から玉川先生にバトンタッチしたいと思っております。なお議事録作成のため音声を録音させていただきますので、ご承知おきください。

まず今回は、介護保険事業計画等運営委員会と地域密着型サービス運営委員会を同時開催とさせていただいております。理由は、計画の進捗に本来、地域密着型サービス運営委員会の議題となる施設整備について含まれておりまして、一緒に審議していく必要があるためです。ご承知おきくださいますようお願いいたします。

それでは福祉部長の佐野よりご挨拶を申し上げます。

佐野福祉部長：改めまして、皆さんお忙しい中、本委員会にご出席いただきましてありがとうございます。私は、本年 4 月に福祉部長に就任いたしました佐野と申します。どうぞよろしくお願い致します。

介護保険制度につきましては、2000 年（平成 12 年）の 4 月にスタートし 25 年が経過しました。本町におきまして、スタート時の第 1 期介護保険事業計画において月額 2,707 円であった介護保険料が、現在の第 9 期において、5,400 円とほぼ 2 倍となっております。

また 2000 年の 10 月に、20.5%だった高齢化率につきましても、本年 10 月の時点では、31.8%とやはり 10 ポイント以上の伸びとなっております。本年 2025 年は、昭和 22 年から 24 年の間に生まれた、いわゆる団塊の世代の方々が 75 歳以上の後期高齢を迎えて、国民の 5 人に 1 人が後期高齢者となっております。本町においても例外ではなく、75 歳以上の後期高齢者が 20.6%です。また、15 年後の 2040 年には、昭和 46 年から昭和 49 年に毎年 200 万人以上が生まれた世代、いわゆる団塊ジュニアのすべての方が 65 歳以上、高齢者世代になり、今後 75 歳以上、さらには 85 歳以上の方の占める割合の増加、また 65 歳以上の夫婦のみの世帯や単身世帯の増加などが予想されております。こうした超高齢化社会を背景として、貧困やひきこもり、虐待や老々介護などの複合的、不複雑化する多問題ケースと言われる方々の支援や、認知症、ネグレクト、孤独死などへの対応など、地域包括支援センターはもとより、行政、地域住民の皆様、団体、介護事業者に求められる割合、役割はとどまるどころがない状況でございます。町といたしましてはこうした状況下においても、高齢者福祉計画介護保険事業計画に掲げる基本理念であります、お互いに支え合い生き生きと健康に過ごせるまち葉山の実現に向けて、年齢を重ね、介護が必要な状態になっても、すべての人が安心して住み慣れた地域で暮らしていけるよう、引き続き地域包括ケアのさらなる推進、介護人材の確保育成、認知症対策について重点的に取り組んで参ることを申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。

本日は短い時間になりますが、忌憚のないご意見などを賜りますよう、よろしくお願い致します。

内田課長：次第の裏面になります。名簿をご覧ください。まず本委員会の委員でございますが、前回までご担当いただいた葉山清寿苑施設長の守谷様が 3 月をもって定年退職されたことに伴い、松尾様に残りの任期を委嘱させていただきました。また 8 番の山岡委員については本日ご欠席のご連絡をいただいております。それでは改めて委員の皆様にご自己紹介をお願いいたします。

(委員・事務局自己紹介省略)

それではまず初めに本委員会は規則第五条の規定により、委員の過半数の出席をもって成立いたします。本日は 8 名の委員にご出席いただいておりますので、成立することをご報告します。続いて当委員会は原則公開することとなっております。そのため、町ホームページで、傍聴者を募集したところ、1 名の傍聴希望者がいらっしゃいました。委員の皆様のご了解をいただきまして、傍聴者の入室を許可したい思います。いかがでしょうか。

(全員了承)

傍聴の方におかれましては、机上に配付の傍聴の注意事項を遵守していただきますようお願いいたします。

また本日は3つの会議を引き続き行います。本来なら、委員の皆様のご了解をいただくまで、会議の都度、退席をいただきますが、スケジュールの関係上、通しで着席いただきますことを併せてご承知おきください。

それでは、以降の進行について、玉川委員長どうぞよろしく願いいたします。

玉川委員長：先ほどご説明ありました通り、葉山町介護保険事業計画等運営委員会と葉山町地域密着型サービス運営委員会の合同開催ということで、議事次第に沿って進めて参ります。案件が多いため、皆様のご協力をいただきながら円滑に進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、議題の1まで終わっておりますので議題2、第9期の葉山町高齢者福祉計画介護保険事業計画の進捗状況について、事務局から説明をお願いしたいと思います。

事務局中込：それでは資料1をご覧ください。令和6年度実績、そして令和7年度の進捗を説明させていただきます。

まず1ページ目、葉山町の人口、高齢者の人口の推移についての表です。この表は見える化システムを使い作成しています。0のより上が65歳以上、0より下が64歳未満の方の人口を表したグラフです。現時点を2025年、将来推計も含めたグラフと下の表に数字を落としています。上のグラフから、65才以上の方の人口は、今現在ほぼ横ばい、或いはちょっと微減といった状況です。そして2040年に向けて、また少しずつ上がっていく見込みです。

一方、0より下年少人口、生産年齢人口が今後さらに少なくなっていくのが分かります。また生産年齢人口の割合は、現時点をピークに下がっていき、高齢化率と反比例しているのが分かります。今現在高齢化率が31.8%ですが、人口の母数が減ってくるため、高齢化率は上昇していく見込みです。その中でも75歳以上の方が増えていくのが予想されておりますので、要介護認定が必要になる方の多くが概ね85歳以上ですので、今後認定率がさらに増えていくものと考えています。

続いて2ページ、要介護認定についてです。0から上が要介護1～5、下が要支援1,2の方のグラフになります。認定者数は要介護、要支援共に増えています。そして軽度（要支援1・2、要介護1）の認定者数が増えているというのが、こここのところの傾向です。

また3ページ目、近隣自治体と全国、神奈川県と比較をした要介護認定率になります。調整済み認定率は、他市町村と年齢や性別の分布を調整してならしたものになります。比較しますと、全国、神奈川県、近隣市町村と比較して、葉山町は認定率18.1%と低い値が示されています。介護を必要とする高齢者の方が、他市町村と比べて少ないということになります。

続きまして4ページになります。介護サービスの令和5年度～7年度の、計画値と実績値の比較です。3年に1回の計画値との乖離が大きく出ているものがあり、近年の介護サービス需要の上昇により予測が難しいのが現状です。この中で実績値が顕著に上がっているところは、星印を付けたサービス種目のところ。例えば上から訪問看護と居宅療養管理指導が介護給付と介護予防共に増えてきています。これは域における在宅医療の提供体制の充足や、住民の方の理解が進んできたためと考えています。そして訪問介護、通所介護も顕著に上がっているのが分かります。

続いて5ページ。第1号被保険者1人あたり給付月額になります。他市町村と比べ、低い現状です。認定率が低いということと連動している状況です。

そして下の表は、自己負担軽減等の給付のサービス内訳になっております。下の注釈にサービスの説明がありますので、ご覧ください。

そして6ページ。こちらは、青い計画の冊子の44ページの「施策の展開」に対する、高齢者福祉事業の進捗状況

になります。

まず1番目。貯筋運動の普及ですが、葉山町内で各団体のリーダーさんを中心に、筋肉を貯める体操を週1回程度行っていく体制を作っております。年2回は公認の講師による体操の実技の指導や筋厚測定を行っております。令和5年度に27団体、6年度から28団体、目標としては7年度もう1団体増やしたいと考えていますが、リーダーさんの高齢化や担い手不足で、なかなか難しい状況です。この取り組みが、先ほどの給付や認定率の低減に繋がり、生きいきと健康に過ごせる町民の方を増やしていきたいと考えています。

続いて介護予防事業の1つ目、水中歩行教室の実施です。委託先のスポーツクラブへ4日間コースで通っていただき、トレーナーが健康状態を見ながら指導を受け、水中での歩行を行うものです。膝や腰の痛みがある方でも水中の浮力で痛みが軽減され、体を動かす機会となるため、とてもご好評いただいている事業です。計画値に対して、参加者の欠席等で少し低い実績値ではありますが、引き続き取り組んで参りたいと思います。

そして、2つ目健康寿命の延伸に向けた未病改善の取り組みです。神奈川県での取り組みである未病ですが、フレイルになる前、少し虚弱というところを健康に戻していく取り組みとして、町民健康課の専門職とタッグを組み、各団体さんに出向いて、健康の教室等を実施しています。各団体の受入が良く、計画値より大幅に多く実施できています。

そして(3)(4)については、のちほど地域包括支援センターの運営協議会の方でお話をさせていただけます。

(5)外出支援事業の推進の1つ目、京急ふれあいバス補助事業です。現在販売期間中ですが、少しずつ利用者が増えています。7ページ、2つ目の無料送迎サービスの利用者も少しずつ増えています。

続いて令和6年9月から開始した高齢者おでかけタクシー券交付です。6年度の実績は80歳以上の方、または75から79歳までの免許返納をした方、約5,300人を対象とし申請を受け付けましたが、1,767人が申請(申請率33%)、利用人数1,269人、利用枚数9,214枚、配布したうちの利用率が40%でした。そして、1人平均7.3回の使用でした。

そして計画の冊子の49ページ、地域でお互い助け合いながら暮らしていくというところになります。

資料の7ページ、生活支援体制整備について協議体を設置し、各地域で地域福祉についての課題を検討し、取り組んでいく場として協議体を設けております。今現在8圏域のうち7圏域に設置され、あと1ヶ所設置できるよう働きかけているというのが現状です。

次は地域ケア会議の実施回数です。複雑あるいは介入が困難な事例を地域包括支援センターが中心となって関係者と処遇検討していく会議です。

また、各地域で行っていただいている、生きがいミニデイサービス事業では延べ参加人数が年々増えてきています。

次の8ページ、計画書では、51ページ。介護予防日常生活支援総合事業ですが、計画値を上回って増えている実績となっています。特に通所型サービスが増加傾向にあります。この総合事業は、軽度者に対する支援の仕組みを、介護給付とは別に組み立てられたものです。昨今言われている介護人材不足の問題を解決するためにも、この総合事業で住民主体の活動や基準緩和した形でのサービス提供体制を作る方向です。この実績は、殆どが従前相当サービスの提供による増加であり、A～D型サービス提供主体が増やすことができない現状です。

次9ページです。計画冊子57ページの認知症になっても安心して暮らせるまちをつくるというところでは。

こちらは、認知症に対する施策を進めております。写真は、来庁者に認知症の理解を深めて頂くとうアルツハイマーデイを含む強化月間の9月に行ったパネル展示です。

また、前回の会議で告知しました認知症対策講演会の実績になります。6年度は、湘南鎌倉総合病院でアルツハイマー病予防薬レカネマブの治験を行っている川田先生にご講演をいただき、たくさんの方にご参加していただきました。今後も認知症に対する理解を深めるための活動を行って参ります。

そして資料の10・11ページです。計画冊子の62ページ、「年齢を重ね、介護が必要な状態となっても、可能な限り暮らしていけるまちとする」。こちらは緊急通報システムや配食サービス等の事業について、計画値と実績値の比

較です。

そして、12 ページは、施設整備についてとなります。計画書 81 ページ、地域密着型サービスの生活圏域ごとの施設の見込み量です。大きな変動はありませんが、令和 4 年度から計画している看護小規模多機能型居宅介護の新設について、現時点では計画値におよんでおりません。現在の進捗について後ほど報告させていただきます。

そして、認知症対応型共同生活介護についても令和 6 ～ 7 年で第 1 圏域に計画値 1 とありますが、こちらについても、実績ゼロという形で推移しております。

下の特別養護老人ホームの入所待機者数については、近年減少していることをご報告させていただきます。

資料最後の 13 ページ、介護保険料についてです。第 5 段階を基準にし、それぞれの段階の金額を決めています。基準額は保険料額÷12、月 5,400 円と設定しています。サービス需要の上昇に伴い、保険料額の負担は増えていく見込みです。

被保険者数は、近年横ばいまたは微減であり、構成比も変動があります。一番下は介護保険料の収納状況になります。令和 5 年度の合計額と令和 6 年度の合計額を見ますと、保険料設定を変えたことによって、保険料収入済額が増え、さらに収納率が少し上がっている現状ではありますが、100%を目指していくため、庁舎内での取り組みを行っているところです。

長くなりましたが、事務局から資料 1 の説明は以上となります。

玉川委員長：計画の進捗状況を数多くの事業、施策についてご説明いただきました。計画値や実績値をご紹介いただきましたが、じっくり見なければ分からないところもあるかとは思いますが、この場で確認、ご質問いかがでしょうか。

岩崎副委員長：2 つございます。人口の推移の表、右側の注釈ですが、75 歳以上 65 歳から 75 歳未満とありますがその下にいきなり 15 歳未満となっております。15 歳未満のところに 40 歳から 65 歳未満、15 歳から 40 歳未満とした方が見やすいと思います。

事務局中込：右側の注釈について修正したいと思います。[資料修正]

岩崎副委員長：2 つ目です。10 ページ目に緊急通報システムとありますが何の回線を使っているのでしょうか。

事務局中込：一人暮らしの方の安否確認のための緊急通報システムですが、人感センサーや緊急コールによる SOS となり、防犯機能はありません。固定電話への設置が基本となりますが、回線がないお宅でも特別な機器を貸与して、導入できる運用となっています。

岩崎副委員長：将来的に皆さん固定電話をやめて携帯電話になっていくと思われますので、今後も固定電話がなくなる前提で進めていった方が良いと思います。

玉川委員長：それでは議題の 3、令和 6 年度の地域密着型サービスの実績及び令和 7 年度の進捗状況について、事務局から説明お願いいたします。

事務局中込：資料 2 をご覧ください。葉山町地域密着型サービス事業所の状況についてです。葉山町内の身近な場所で専門的なケアを受けることを目的にした事業です。町が指定基準を設け、事業所指定監督しているものになりま

す。

まず1つ目が認知症対応型共同生活介護、現在グループホーム葉山の里が1ヶ所。定員数は2ユニット18人です。1ユニット9人の体制で、アットホームな入所生活ができます。6年度の利用者数は、入退所を含めて延べ24人です。平均入所日数が2年1ヶ月、前年度と比較すると、平均入所日数が少し減っており、入退所が多かったためです。

続いて認知症対応型通所介護は、葉山オハナデイサービスセンター1ヶ所です。1日の定員としては12人、6年度利用実績は32人です。1日の平均利用者数が7.2人でした。

続いて小規模多機能型居宅介護支援事業所、アンコール葉山とみ・カーさの2ヶ所です。こちらは通いとショートステイ・訪問介護が一つの事業所から受けられ、いつも慣れたスタッフから支援を受けられることがメリットになっており、認知症の方が多く利用されています。それぞれ登録定員が29人ですが、利用者実数は41人と38人でした。

裏面、定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所は、葉山オハナ24在宅サポートの1か所で、登録者数は12人、1日平均9.8人の方を巡回しています。

続いて、地域密着型通所介護を4ヶ所です。葉山グリーンヒルケアセンターは定員18人、6年度は65人の方が利用されました。続いてアロハオハナデイサービスセンターが定員10人、利用者実数としては30人。そしてひばりデイサービス葉山が定員18人のところに27名ご利用されました。ハレオハナデイサービスセンターさんは休止中のままです。

続いてのページ、2の地域密着型サービス整備についてです。

1件目、看護小規模多機能型居宅介護の整備についてです。第8期の運営委員会にて、事業所選定のためのプレゼンを、手上げのあった1社訪問看護ステーションルイスにしてもらいました。その後決定しましたが、予定地での実施ができなくなり、土地選定が進まず、9期に引き継いで検討して参ったところ。令和7年1月の前回委員会時点では、協議を進めている段階でした。令和7年3月に、町の町有地であります旧はばたき跡地を使って開設をする運びとなりました。8月には住民説明会が開催され、この11月に修繕工事着工という段階にあります。開設は、令和8年4月を予定しており、「ルイの家」という事業所名になるそうです。

事業概要ですが、登録定員数29名、通所の1日定員が18名で、宿泊定員が1日8床用意されています。職員は、今ある訪問看護ステーションと兼務看護師が常勤9.6名、介護職員が5名、非常勤が2名、そして介護支援専門員（ケアマネ）は常勤1名を配置する予定です。今ある訪問看護ステーションルイスは、同じ場所で事業継続されますので、今回のルイの家については、サテライトステーションという形になるとのこと。裏面の建築改修イメージをご覧ください。1階が通所のフロア、浴室やキッチンがあります。2階が泊り8部屋用意されています。大きいお部屋は、お看取りの段階の方も、ご家族と一緒に泊ってもらえるスペースとして広くとっているとのこと。看護多機能事業所で想定される対象者は、胃ろうや点滴など医療処置が必要な方も想定されますので、静養コーナーや多目的スペースの活用がされる予定です。令和8年4月からの開設を楽しみにしております。

玉川委員長：それでは今ご説明があった資料2の4ページまでの範囲のところで質疑、質問等ありましたらお願いします。

無いようなので先に進ませていただきたいと思います。

では、議題の4になります。施設整備計画の見直しについて、ご説明をお願いします。

事務局中込：続いて資料2の5ページ目になります。青い計画冊子78、81ページの施設整備計画についてです。

前回の会議において、認知症対応型共同生活介護の設置について議題とさせていただきました。令和7年1月に設置事業者の公募をしたところ、応募がありませんでした。そこで検討中の2事業者に、状況をヒアリングしました。そ

の中で今回の募集内容が、定員 9 名の 1 ユニットでしたので、人材確保と経営面において採算がとれないという意見がありました。また、ニーズについて不安視する意見もありました。グループホームの対象の方は認知症の症状がある程度進行した方が想定されます。グループホームの入所を希望される方の相談は多く承っておりますが、特養と違い、待機者数は把握していません。今困っているから今入れて欲しいというタイミングを逃してしまわないように、現状としては、他の入所可能な有料老人ホーム等に入られる方は多いようです。やはり認知症の専門的なケアを受けるグループホームのメリットは非常に大きいと考えていますので、地域の身近な場所に入所できる安心感を提供していくため、引き続き整備を進めていきたいと考えています。

今回の検討としては、9 期中の整備は難しい見込みですが、10 期令和 9 年度設置目標の募集をしていく段階で、定員 18 名 2 ユニット以内へ見直しすることで、実現可能性を高めていきたいと思っております。その見直しについてご意見あればお願いいたします。

玉川委員長：認知症対応型いわゆるグループホームの整備について、当初 78、81 ページの通り見込んだ計画ですが、実現が難しく、ヒアリングをしたところ、1 ユニットではなく 2 ユニットでないと難しいという話がありました。計画期間等々も踏まえ、今後の進捗を町の方で考えていただいた見直し案とです。再度公募するにあたり、施設整備予定を 1 事業所 2 ユニット 18 人定員で進めたいというご提案がありました。ご意見があればよろしくお願いたします。

ニーズをどう見込むのか、また実際に事業運営していくときに、どういう形で取り組めるか折り合いをつけないと実現しづらいということで、それらを踏まえての見直し内容です。特段なければ、見直した方向で進んでいくということはこの委員会としても了承したいと思います。では今後も節目で状況等をご報告いただければと思います。よろしくお願いたします。

それでは次が議題の 5。第 10 期計画策定に向けたアンケート調査について事務局から、説明をお願いします。

事務局中込：資料 3 をご覧ください。令和 9 年度から始まる第 10 期計画策定に向けての基礎資料とするため、今年度中に 5 つのアンケートを取る予定です。令和 4 年度に実施したものとほぼ同じものになっております。

まず 1 つ目が、介護予防日常生活圏域ニーズ調査です。こちらについては、要介護認定者 1 ～ 5 の方を除いた比較的元気な高齢者に対する調査です。1 万人の対象のうち無作為抽出した 3 千人の方に郵送で調査を行います。こちらは 2 つに分けている日常生活圏域ごとに地域の抱える課題を特定していくものでもあります。外出手段や地域活動への参加、困りごとを誰に相談するかなどの設問になっています。

2 番目に在宅介護実態調査です。対象が要介護 1 から 5 の方約 600 人で、こちらは家族等の介護者の就労継続や、要介護者の適切な在宅生活の継続状況について把握するものです。ただ対象者が答えるのが難しいことが予測されるので、ご家族やケアマネさんにも協力してもらって、一緒に答えていただくような形でお願いしております。

3 番目が、在宅生活改善調査【新】です。目的が 2 番の在宅介護実態調査と同じですが、対象が事業所になります。資料の 1 枚目裏面にある通り、見直しが入り、回答内容の正確性や高い回答率が予測され、国としては、2 をこの調査に移行する方向です。しかし、前回との比較をするため、今回まで 2 も 3 を同時に調査し、次回以降 3 のみとしようと考えております。

そして 4 番居所変更実態調査は、対象が居住系・施設系サービスで、有料老人ホームやグループホーム、泊まりがある施設の事業所を対象に、住みなれた施設における生活の継続について、聞くものになっております。それまで在宅生活していた方が入所を決める原因や家族背景等を問い、細かい質問が多くあります。

そして 5 番目、介護人材実態調査です。介護人材の確保、適切な役割分担の実現のため、在宅・入所系とサービスの事業者を対象に調査します。

5 つの調査全て、2 月中に実施する予定です。資料後半は、国が示している調査の項目になります。網掛けの部

分はオプション項目ですが、葉山町は全て入れた状態で調査をしていきたいと考えております。町独自の設問は+aで事業の評価ができるものを何項目か入れたいと思います。例えば、山坂が多いこの葉山町の環境下での課題として、高齢者の移動手段や外出の支援についてです。

また、今回の運営委員会内容等で、新たな設問の提案、ご意見いただければと思います、読んでいただいて、ご意見がある場合は、机上に配付した意見表を記入・返送いただければ嬉しいです。

玉川委員長：調査の種別だけでも5つもあり、設問数も多く、細かいところは落ち着いて読まないといけないと思いますが、全体の組み立てや流れ等の確認があればこの場でお願いしたいと思います。

岩崎副委員長：このアンケート書くのはご本人とご家族の方どちらですか？

事務局中込：1つ目の介護予防日常生活圏域ニーズ調査については、対象が基本的にはお元気な方ですので、ご本人が書かれることを想定しています。2つ目は、要介護認定者のため、ご家族やケアマネと一緒に回答していただけたらと思います。

岩崎副委員長：本人が書いたのか、家族と一緒に書いたのか、分かると思うのですが。

事務局中込：無記名の回答で、「どなたが回答していますか」等の設問が無い限り把握は出来ません。

玉川委員長：基本的にはここで本人かご家族が回答しているかどうかは現実的なのかも含めて、ご意見いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

岩崎副委員長：本人はできると言っているけど、家族はできない、と言ったときにどう回答が返ってくるか心配だと思いますので、よろしくお願ひいたします。

事務局中込：調査回答から、内容の信憑性を図るのは難しいかとは思いますが、ご家族に協力してもらえるよう説明書き等で示していけたらと思います。

岩崎副委員長：設問の中で「自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか」とありますが、番号は登録してあって、そこから電話をかけると思います。最近あまり電話帳で調べないですね。あと「新聞を読んでいますか」と「雑誌・本を読んでいますか」というのは、新聞を読むというのはデータを解析しているかという設問なのか、文字を読んでいるのかという設問なのかということで、同じような設問だったら嫌になってしまうのではないのでしょうか。国が入れても入れなくてもどちらでもよい設問は、一応入れておこうかなというのであればやめた方がよいと思います。

玉川委員長：ご意見をどう取扱うか全体集約した上になるかと思ひます。今まで整合性やどこまで追いかけないといけなのか、それとももう時代が変わってる中で、仕組みが変わっているのかとか、その辺も含めて、基本的には前回出したアンケートは、この文言で作っているのでしょうか。

事務局中込：そうです。国が示している文言を使うことが原則で、これを修正ができる範囲っていうのがQA集などに出てるところではありますので、なるべく分かりやすい表現ですとか、時代に合った形に修正ができるかなどは、随時確認し

ていきたいと思ひます。前回調査との比較をするために、同じ内容を示されています。追加の項目はできても、必須項目の削除ができないというのが現状ではありますので、分かりにくいというご意見はあるかと思ひますが、ご理解ください。

玉川委員長：設問を町ベースで変えることができるところと、全国的に見直したことがいいところとちよつと仕分けがあると思ひます。落ち着いた目で見えていただければと思ひますので、別紙の意見表が席上に配布をされていますので、それに従つてご意見をお寄せいただければと思ひます。

加茂委員：この今回の第 10 期アンケートですが、第 9 期アンケートの回収率ほどの程度ですか。

事務局中込：計画の冊子の 15 ページになります。令和 5 年の 2 月中に実施をしまして、圏域ニーズ調査の方は 3,000 の方を対象にして、1,900 回収で 65%となります。そして在宅介護実態調査については 67.2%。今回の目標としては 50%以上としています。

加茂委員：こんなに回収率が高いと思ひませんでした。逆に言えば提出してない方が逆に危ないのではないかなと思ひております。私も在宅へ訪問していますが、自分のところに通院しなくなった方たちを追いかけてみると、危ないなと思ひ方たちが増えているのは事実なので、その辺を考えたほうがいいかなと思ひます。

玉川委員長：では落ち着いて見ていただければと思ひます。そうした意見の集約等々も含め、議題の 6、今後のスケジュールについて事務局の方からご説明をお願いします。

事務局中込：資料 4 をご覧ください。当委員会のスケジュールになります。今回は第 9 期第 2 回の運営委員会を開催いたしました。8 年度は第 10 期計画の策定に向けた具体的な検討段階になりますので、5 回の開催を予定しています。次回の第 3 回は、7 年度の実績報告および、今回実施するアンケート結果の分析、課題検討をして参ります。4 回目～7 回目も順次段階を経て進んでいきますので、頻回な会議になりますが、日程調整などご協力をお願いいたします。

玉川委員長：先ほどの意見表は、アンケート 2 月実施から逆算して、12 月 19 日〆切ですね。また、次回は 8 年度の 7 月目途ということです。アンケート集約もありますが、法定で決まっているものや、具体的かつ数量的な事業がカウントされて積み重ねていく流れになると思ひます。

事業の進捗の中で、なぜ伸びないのか、なぜ膨らんだのか、そうした課題など、多少今回見えたかと思ひますので、それらを加味して、今後の委員会出席に向け、皆様もあらかじめ考えていただければと思ひます。

では、次第ではその他とありますが、何かございますか。

事務局中込：最後に、参考資料についてです。厚生労働省から出された「第 10 期の介護保険計画の作成準備について」です。2040 年問題に向けた介護保険のサービス提供体制のあり方を検討する会議のまとめになります。葉山町でも課題となっている高齢化率や介護人材不足等について、国の方向性がこの冬を目途にまとめられる予定になっております。1 度目を通していただければと思ひます。

玉川委員長：あり方検討会自体は、7 月の末ぐらいに取りまとめ最終報告出ており、これらを踏まえて介護保険部会

が年末に向けて、最終段階に入っているところだと思います。このあり方検討会は、先ほど言われた団塊の世代が後期高齢者に入るというのがターゲットにしたのが2025年で、その15年後の2040年を目途にどうしていくかと言う話です。6ページにあるように、3つぐらいゾーンがあり、中山間地域では事業者そのものがなかなか出てこないような地域の問題意識であったり、大都市の比較的高齢化が遅かった地域で、今後急速に進むとサービスの受け皿が無いという課題のようです。葉山でも、地域ですっと暮らしたいと思っている人にどうやってサービスを提供できるかというのを、真剣に考えていかなければと思います。目を通していただければと思います。

それでは、ここまでで第9期の第2回介護保険事業計画等運営委員会と葉山町地域密着型サービス運営委員会の、この2つの合同会議を終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

第9期（令和6年度～8年度）第2回 葉山町介護保険事業計画等運営委員会

・葉山町地域密着型サービス運営委員会 次第

日 時：令和7年12月4日（木）13:00～

場 所：葉山町役場3階 協議会室2

1 あいさつ

2 第9期 葉山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況 資料1

3 令和6年度の地域密着型サービスの実績報告および令和7年度の進捗状況について 資料2

4 施設整備計画の見直しについて 資料2

5 第10期計画策定に向けたアンケート調査について 資料3

6 今後の委員会スケジュールについて 資料4

7 その他

葉山町介護保険事業計画等運営委員会・地域密着型サービス運営委員会出席者名簿

令和7年12月4日

| | 構成 | 氏名 | 所属機関 | |
|---|--|-------|--------------------|----------------|
| 1 | 委員長 規則第3条1項2号 (学識経験を有する者) | 玉川 淳 | 神奈川県立保健福祉大学 | |
| 2 | 副委員長 規則第3条1項3号 (保健医療関係者) | 岩崎 仁彦 | 逗葉医師会 | |
| 3 | 規則第3条1項3号 (保健医療関係者) | 加茂 公隆 | 逗葉歯科医師会 | |
| 4 | 規則第3条第1項1号 (被保険者) | 木内 シヅ | 介護保険被保険者 (町民公募) | |
| 5 | 規則第3条第1項1号 (被保険者) | 相澤 寶子 | 介護保険被保険者 (町民公募) | |
| 6 | 規則第3条第1項4号 (福祉関係者) | 松尾 博樹 | 葉山清寿苑 | 令和7年 4月1日より |
| 7 | 規則第3条1項4号 (福祉関係者) | 宮川 康代 | 葉山町民生委員 児童委員協議会 | |
| 8 | 規則第3条1項4号 (福祉関係者) | 山岡 明美 | 神奈川県鎌倉保健福祉事務所 | 欠席 |
| 9 | 規則第3条第1項4号 (福祉関係者) | 中野 徹 | 葉山町社会福祉協議会 | |

(敬称略)

任期：令和7年1月1日～令和9年3月31日

【事務局】

福祉部長 佐野 秋次郎

福祉課長 内田 自栄

課長補佐 中込 里子

主任 和田 大樹

資料 1

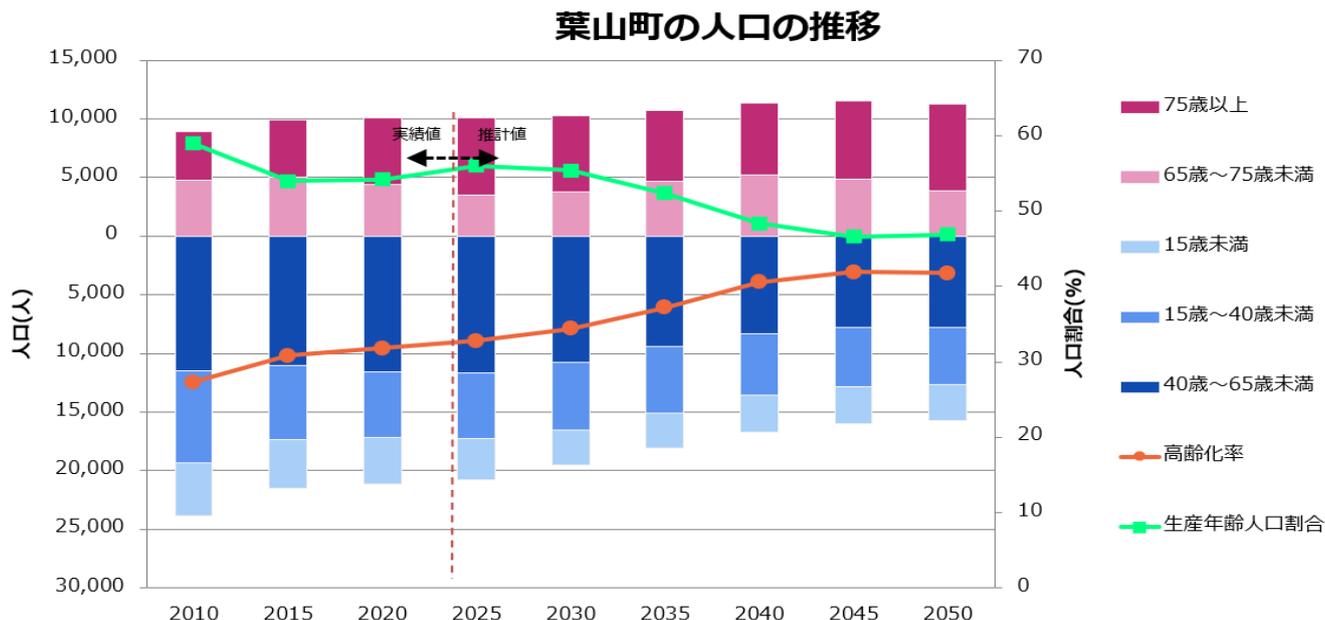
第9期第2回介護保険計画等運営協議会

令和7年（2025年）12月4日

**第9期における
各事業の実績報告等について
令和6年度実績**

1 高齢者数等の推移

(1) 高齢者人口等の推移及び推計 [計画書P7/77]



(出典) 2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」

2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

(単位：人)

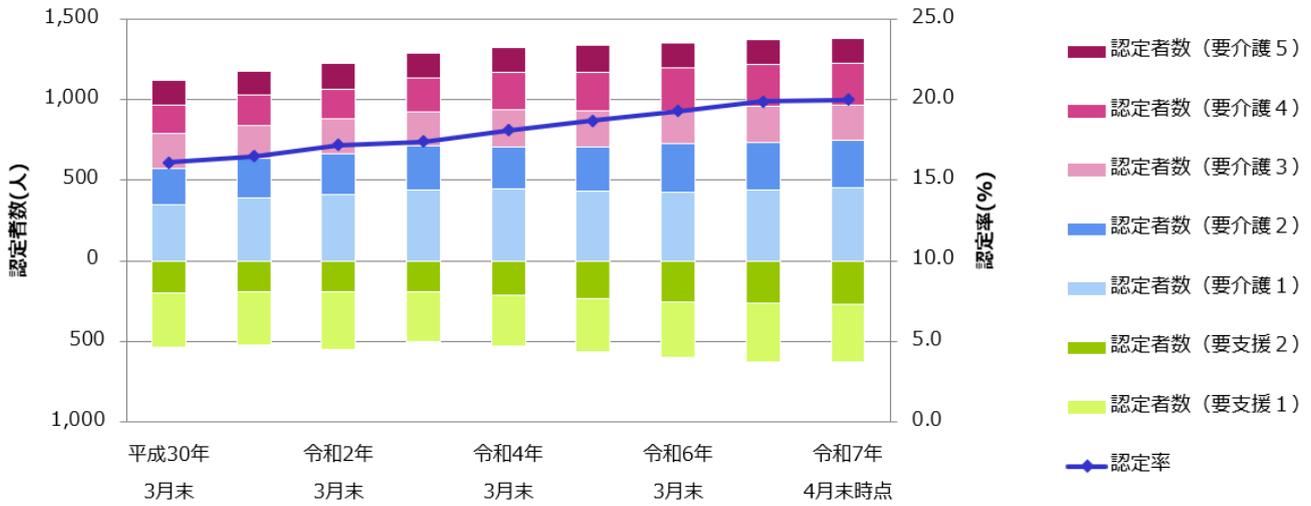
| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 葉山町人口 | 32,841 | 32,339 | 98.5% | 32,087 | 32,144 | 100.2% | 31,803 | 31,538 | 99.2% | 31,500 | | |
| 第1号被保険者(65歳以上) | 10,131 | 10,146 | 100.1% | 10,130 | 10,090 | 99.6% | 10,111 | 10,035 | 99.2% | 10,088 | | |
| 高齢化率 | 30.8% | 31.4% | | 31.6% | 31.4% | | 31.8% | 31.8% | | 32.0% | | |
| 前期高齢者(65～74歳) | 4,054 | 3,850 | 95.0% | 3,638 | 3,702 | 101.8% | 3,548 | 3,539 | 99.7% | 3,496 | | |
| 後期高齢者(75歳～) | 6,077 | 6,296 | 103.6% | 6,492 | 6,388 | 98.4% | 6,563 | 6,496 | 99.0% | 6,592 | | |
| 生産年齢人口 | 18,559 | 18,250 | 98.3% | 18,114 | 18,033 | 99.6% | 17,960 | 17,843 | 99.3% | 17,823 | | |
| 第2号被保険者(40～64歳) | 12,517 | 12,485 | 99.7% | 12,440 | 12,413 | 99.8% | 12,369 | 12,325 | 99.6% | | | |
| 15～39歳 | 6,042 | 5,765 | 95.4% | 5,674 | 5,620 | 99.0% | 5,591 | 5,518 | 98.7% | | | |
| 年少人口(~14歳) | - | 3,943 | - | 3,843 | 3,814 | 99.2% | 3,732 | 3,657 | 98.0% | 3,589 | | |

住民基本台帳より 各年10月1日現在

介護保険の被保険者のうち、65歳以上の方は第1号被保険者、40～64歳の方は第2号被保険者です。葉山町では、令和3年度をピークに、第1号被保険者数は横ばいに転じており、次期計画令和8年度頃から令和22年(2040年)に向け、再び増加傾向となると予測しています。また、生産年齢人口の減少傾向は今後も続くことが見込まれ、さらに高齢化率の上昇は続くものと予測しています。中でも75歳以上の後期高齢者人口は引き続き増加傾向にあります。

(2) 第1号被保険者の要支援・要介護認定者数の推移及び推計 [計画書P8]

葉山町の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移



(出典) 平成29年度から令和5年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和6年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和7年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

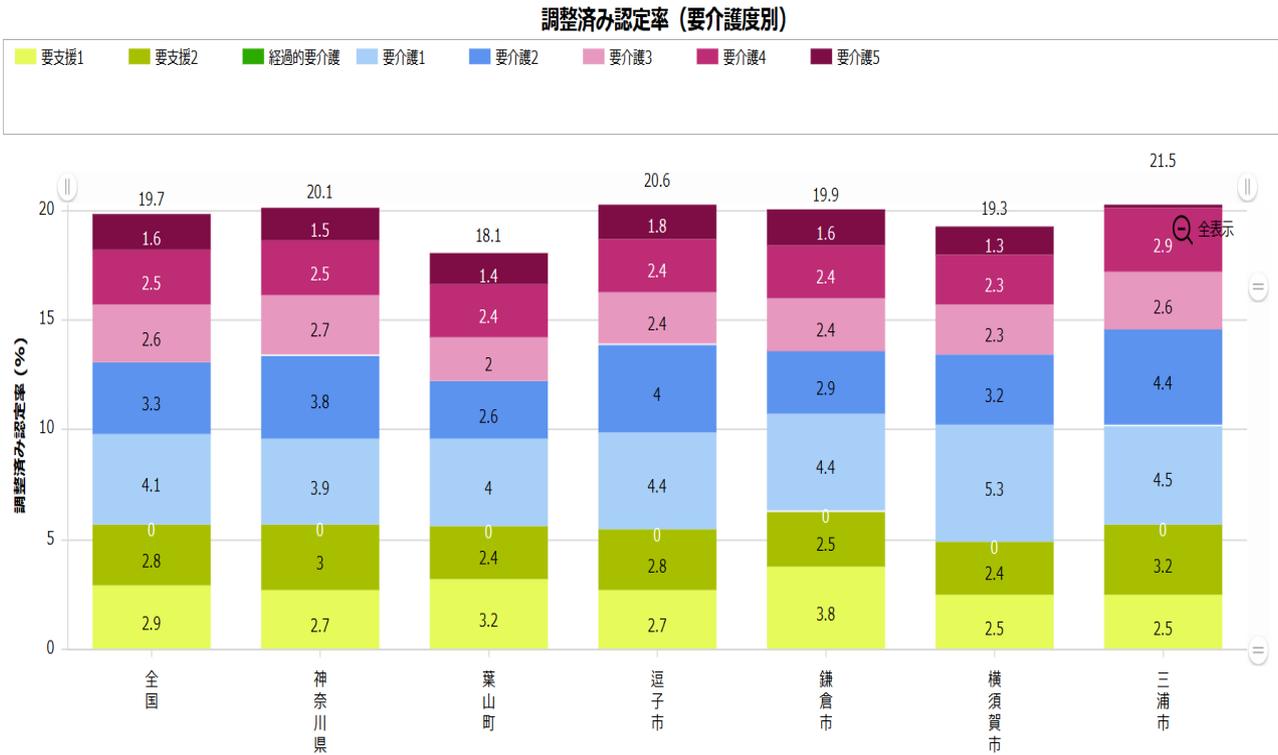
(単位：人)

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|----------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 要介護5 | 175 | 154 | 88.0% | 181 | 160 | 88.4% | 184 | 168 | 91.3% | 189 | | |
| 要介護4 | 214 | 272 | 127.1% | 216 | 266 | 123.1% | 224 | 267 | 119.2% | 232 | | |
| 要介護3 | 235 | 213 | 90.6% | 241 | 232 | 96.3% | 247 | 239 | 96.8% | 253 | | |
| 要介護2 | 285 | 305 | 107.0% | 292 | 298 | 102.1% | 298 | 327 | 109.7% | 305 | | |
| 要介護1 | 457 | 433 | 94.7% | 468 | 449 | 95.9% | 479 | 461 | 96.2% | 489 | | |
| 要支援2 | 218 | 259 | 118.8% | 222 | 268 | 120.7% | 227 | 283 | 124.7% | 233 | | |
| 要支援1 | 364 | 351 | 96.4% | 373 | 366 | 98.1% | 379 | 389 | 102.6% | 384 | | |
| 要介護等認定者計 | 1,948 | 1,987 | 102.0% | 1,993 | 2,039 | 102.3% | 2,038 | 2,134 | 104.7% | 2,085 | | |
| 認定率 | 19.2% | 19.6% | | 19.7% | 20.2% | | 20.2% | 21.3% | | 20.7% | | |

介護保険事業状況報告より 各年10月1日現在

第9期中は、要介護等認定者数は計画値より多く、増加傾向にあります。今後、75歳以上高齢者の増加に伴い、さらに要介護等認定者の増加が見込まれています。

(3) 近隣自治体との要介護認定率の比較（地域包括ケア「見える化システム」）



(時点) 令和6年(2024年)
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

調整済み認定率とは、他市町村等との比較を目的として、「どの地域も全国平均と同じ第1号被保険者の性別・年齢構成だった場合」として計算されます。

葉山町の調整済み認定率は、他市町村と比べ低く、比較的介護を必要とする高齢者が少ないと考えられます。

2 給付費の推移から見た介護保険サービスの利用状況

(単位：千円)

(1) R5年度から第9期中の計画値との比較

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|--|-------|----|-----|-------|----|-----|-------|------|-----|-------|----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績 | 計画比 | 計画値 | 実績 | 計画比 | 計画値 | 実績見込 | 計画比 | 計画値 | 実績 | 計画比 |

予防給付サービス

① 介護予防サービス [計画書P13/82]

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--|--|
| 介護予防訪問入浴介護 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| 介護予防訪問看護 ★ | 11,935 | 14,428 | 120.9% | 19,544 | 14,915 | 76.3% | 18,965 | 18,018 | 95.0% | 19,037 | | |
| 介護予防訪問リハビリテーション | 1,884 | 298 | 15.8% | 193 | 474 | 245.6% | 193 | 58 | 30.1% | 193 | | |
| 介護予防居宅療養管理指導 ★ | 5,189 | 5,027 | 96.9% | 4,717 | 5,389 | 114.2% | 4,979 | 6,715 | 134.9% | 4,979 | | |
| 介護予防通所リハビリテーション | 10,928 | 8,678 | 79.4% | 6,903 | 11,836 | 171.5% | 7,200 | 8,933 | 124.1% | 7,200 | | |
| 介護予防短期入所生活介護 | 583 | 791 | 135.7% | 373 | 1,331 | 356.8% | 373 | 844 | 226.3% | 373 | | |
| 介護予防短期入所療養介護 (介護老人保健施設) | 0 | 63 | - | 0 | 0 | - | 0 | 45 | - | 0 | | |
| 介護予防短期入所療養介護(病院等) | 0 | 0 | - | 0 | | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| 介護予防福祉用具貸与 | 9,537 | 10,123 | 106.1% | 9,888 | 10,711 | 108.3% | 10,118 | 10,440 | 103.2% | 10,295 | | |
| 介護予防福祉用具購入費 | 901 | 1,313 | 145.7% | 1,443 | 1,338 | 92.7% | 1,443 | 1,074 | 74.4% | 1,443 | | |
| 介護予防住宅改修費 | 2,683 | 7,158 | 266.8% | 6,866 | 6,529 | 95.1% | 6,866 | 6,392 | 93.1% | 6,866 | | |
| 介護予防特定施設入居者生活介護 | 16,642 | 20,138 | 121.0% | 18,758 | 18,944 | 101.0% | 19,446 | 16,438 | 84.5% | 20,632 | | |

② 地域密着型介護予防サービス [計画書P14/83]

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--|--|
| 介護予防認知症対応型通所介護 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 11,832 | 3,950 | 33.4% | 2,713 | 4,419 | 162.9% | 2,716 | 3,664 | 134.9% | 2,716 | | |
| 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| ③ 介護予防支援 [計画P14/83] | 11,062 | 12,255 | 110.8% | 13,210 | 12,986 | 98.3% | 13,407 | 13,037 | 97.2% | 13,708 | | |

介護給付サービス

① 居宅サービス [計画書P10/84]

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|--|--|
| 訪問介護 ★ | 235,458 | 245,272 | 104.2% | 252,762 | 266,806 | 105.6% | 258,450 | 282,480 | 109.3% | 270,808 | | |
| 訪問入浴介護 | 30,911 | 29,168 | 94.4% | 28,051 | 28,629 | 102.1% | 28,921 | 24,638 | 85.2% | 30,457 | | |
| 訪問看護 ★ | 100,132 | 133,360 | 133.2% | 119,054 | 154,748 | 130.0% | 121,986 | 162,035 | 132.8% | 129,854 | | |
| 訪問リハビリテーション | 6,626 | 8,091 | 122.1% | 10,778 | 8,531 | 79.2% | 11,693 | 8,817 | 75.4% | 11,693 | | |
| 居宅療養管理指導 ★ | 49,883 | 68,844 | 138.0% | 66,257 | 76,334 | 115.2% | 68,096 | 80,317 | 117.9% | 71,270 | | |
| 通所介護 ★ | 221,173 | 231,265 | 104.6% | 254,602 | 250,523 | 98.4% | 261,068 | 272,810 | 104.5% | 270,552 | | |
| 通所リハビリテーション | 107,285 | 111,958 | 104.4% | 121,596 | 107,248 | 88.2% | 124,373 | 93,501 | 75.2% | 130,200 | | |
| 短期入所生活介護 | 116,998 | 86,675 | 74.1% | 80,684 | 99,236 | 123.0% | 84,248 | 93,511 | 111.0% | 87,681 | | |
| 短期入所療養介護(介護老人保健施設) | 14,707 | 9,293 | 63.2% | 17,848 | 7,086 | 39.7% | 18,834 | 9,854 | 52.3% | 18,834 | | |
| 短期入所療養介護(病院等) | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| 短期入所療養介護(介護医療院) | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| 福祉用具貸与 | 73,885 | 87,516 | 118.4% | 88,691 | 95,860 | 108.1% | 92,278 | 98,991 | 107.3% | 96,134 | | |
| 福祉用具購入費 | 4,265 | 2,688 | 63.0% | 3,131 | 3,554 | 113.5% | 3,131 | 2,961 | 94.6% | 3,131 | | |
| 住宅改修費 | 8,755 | 7,535 | 86.1% | 9,390 | 8,658 | 92.2% | 9,390 | 8,472 | 90.2% | 9,390 | | |
| 特定施設入所者生活介護 | 332,550 | 366,640 | 110.3% | 392,444 | 403,336 | 102.8% | 400,473 | 409,012 | 102.1% | 413,048 | | |

② 地域密着型サービス [計画書P11/85]

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|-------|---------|--|--|
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 4,721 | 19,580 | 414.7% | 19,321 | 20,040 | 103.7% | 19,346 | 15,224 | 78.7% | 19,346 | | |
| 夜間対応型訪問介護 | 0 | 0 | 0.0% | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| 地域密着型通所介護 | 55,284 | 60,987 | 110.3% | 53,599 | 56,722 | 105.8% | 56,337 | 56,245 | 99.8% | 57,988 | | |
| 認知症対応型通所介護 | 46,448 | 24,776 | 53.3% | 25,751 | 21,363 | 83.0% | 25,784 | 24,154 | 93.7% | 27,651 | | |
| 小規模多機能型居宅介護 | 87,147 | 87,168 | 100.0% | 106,694 | 75,831 | 71.1% | 109,825 | 79,155 | 72.1% | 115,273 | | |
| 認知症対応型共同生活介護 | 92,990 | 69,448 | 74.7% | 56,919 | 56,952 | 100.1% | 84,976 | 57,530 | 67.7% | 84,976 | | |
| 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| 地域密着型 介護老人福祉施設入所者生活介護 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 85,650 | 0 | 0.0% | 56,558 | 0 | 0.0% | 56,629 | 0 | 0.0% | 56,629 | | |

③ その他サービス [計画書P11/86]

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|--|--|
| 居宅介護支援 | 124,816 | 134,238 | 107.5% | 142,834 | 153,357 | 107.4% | 148,165 | 152,482 | 102.9% | 153,193 | | |
|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|--|--|

④ 施設サービス [計画書P12/86]

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|--|--|
| 介護老人福祉施設 | 532,165 | 553,084 | 103.9% | 554,161 | 600,186 | 108.3% | 554,862 | 576,082 | 103.8% | 554,862 | | |
| 介護老人保健施設 | 386,131 | 308,832 | 80.0% | 336,004 | 322,890 | 96.1% | 336,429 | 334,076 | 99.3% | 336,429 | | |
| 介護医療院サービス | 0 | 0 | - | 0 | 2,728 | - | 0 | 5,033 | - | 0 | | |

給付費は年々増加傾向にあり、サービス種別では訪問看護・訪問介護・居宅療養管理指導・通所介護（★印）の在宅サービスが、顕著に増えています。

（２）近隣市との比較を踏まえた給付実績分析（地域包括ケア「見える化システム」）

葉山町の第8期及び第9期計画期間中の給付実績は増加傾向で推移しておりますが、1人当たりの給付実績は、全国平均、神奈川県平均はもちろん近隣市と比較しても低い状況です。しかしながら、今後の高齢化の進展（特に75歳以上高齢者数の増加）を踏まえると、給付費は今後も増大していく可能性が高いものと見込まれます。限りある社会資源を有効活用し、介護サービスのみならず地域の多様なサービスを適切に提供する体制を構築するとともに、医療・介護の連携を促進していくことが重要となっています。

調整済み第1号被保険者1人当たり給付月額（総額）



（３）その他サービスの推進【計画書P71/89】

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|-----------------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績 | 計画比 | 計画値 | 実績 | 計画比 | 計画値 | 実績見込 | 計画比 | 計画値 | 実績 | 計画比 |
| ① 高額介護サービス費 | 91,645 | 83,618 | 91.2% | 87,251 | 92,190 | 105.7% | 89,036 | 93,508 | 105.0% | 91,290 | | |
| ② 高額医療・高額介護合算 | 18,000 | 13,655 | 75.9% | 13,629 | 15,632 | 114.7% | 13,908 | 12,637 | 90.9% | 14,259 | | |
| ③ 特定入所者介護サービス等費 | 78,030 | 37,669 | 48.3% | 52,183 | 36,974 | 70.9% | 53,251 | 37,090 | 69.7% | 54,599 | | |

① 高額介護サービス費

介護保険サービスの負担額が重くなりすぎないように、利用者の所得段階別に設けた基準額を超える自己負担額が発生した場合に、基準額を超えた分について払い戻しを行うものです。

② 高額医療・高額介護合算

介護保険サービスの自己負担額と医療費の一部負担金等の合計額が高額となった場合、利用者の所得段階別に設けた基準額を超える自己負担額分について払い戻しを行うものです。

③ 特定入所者介護サービス等費

介護保険施設（短期入所も含む）に入所している低所得者層の人に対して、居住費（滞在費）、食費に一定の自己負担限度額を設けて、負担が重くなり過ぎないようにするものです。

3 施策の展開【計画書P44】

令和7年度（令和7年11月現在）までの高齢者福祉事業等の進捗状況は以下のとおりです。

元気で健康な状態を維持する

(1) 貯筋運動の普及【地域づくりによる介護予防推進支援事業】【計画書P44】

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|-------|-------|-----|--------|-------|-----|--------|-------|-----|-------|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 実施団体数 | 27 | 27 | 100.0% | 28 | 28 | 100.0% | 29 | 28 | 96.6% | 30 | - | - |

各団体週1回程度活動しています。年2回、公認講師による正しい体操の実技と筋厚測定を励みに取り組んでいます。しかし、団体の担い手不足や高齢化による課題はあり、町が伴走支援していきます。

(2) 介護予防事業の推進

○ 介護予防水中歩行教室【計画書P45】

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 参加延べ数 | 110 | 100 | 90.9% | 120 | 94 | 78.3% | 120 | 107 | 89.2% | 120 | - | - |

スポーツクラブに委託している当事業の参加者からは、非常に高い評価を得ています。リピーターが多いことが課題となっていました。周知方法や新規希望者を優先する等工夫した所、より多くの方に参加していただいています。

○ 健康寿命の延伸に向けた未病改善等の取り組み【計画書P46】

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|---------|-------|-----|--------|-------|-----|---------|-------|-----|--------|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 口腔・栄養講座 | 2 | 18 | 900.0% | 3 | 32 | 1066.7% | 3 | 14 | 466.7% | 3 | - | - |
| 認知症講座 | 2 | 0 | 0.0% | 3 | 0 | 0.0% | 3 | 0 | 0.0% | 3 | - | - |

町民健康課が実施している、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業と協働し、管理栄養士や歯科衛生士、保健師が地域に出向き、各講座を実施しています。

(3) 介護予防ケアマネジメント事業の充実【計画書P46】

地域包括支援センター運営協議会にて

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント事業の充実【計画書P47】

地域包括支援センター運営協議会にて

(5) 外出支援事業の推進【計画書P48】

○ 京急ふれあいパス補助事業

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 延べ利用者数 | 1,650 | 1,671 | 101.3% | 1,900 | 1,713 | 90.2% | 1,900 | - | - | 1,900 | - | - |

○ 無料送迎サービス [計画書P48]

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|-------|-------|-----|--------|-------|-----|--------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 利用延べ数 | 320 | 465 | 145.3% | 330 | 469 | 142.1% | 340 | - | - | 350 | - | - |

○ 高齢者おでかけタクシー券

| 令和6年度実績 (令和6年度9月から開始) | |
|-----------------------|----------|
| 対象者 | 5,300 人 |
| 申請者数 | 1,767 人 |
| 申請率 | 33.3% |
| 配布枚数 | 22,900 枚 |
| 利用人数 | 1,269 人 |
| 申請者のうち利用率 | 71.8% |
| 利用枚数 | 9,214 枚 |
| 配布のうち利用率 | 40.2% |
| 一人平均利用回数 | 7.3 回 |

地域でお互い助け合いながら暮らしていく

(1) 地域福祉活動への支援

○ 生活支援体制整備事業 [計画書P49]

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 第2層協議体数 | 7 | 7 | 7 |

葉山町内を8圏域に分け、各地域に第2層協議体を設置することを目標としています。現在は、イトーピア地区の設置及び各地区の活動を、社会福祉協議体と協働して支援しています。

(2) 地域ケア会議の推進 [計画書P49]

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------|-------|-------|-------|
| 開催回数 | 1 | 3 | 2 |

(3) 生きがいミニデイサービス事業 [計画書P50]

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|--------|-------|-------|---------|
| 延べ参加回数 | 5152 | 5453 | 年度末集計予定 |

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業【計画書P51】

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|--------------|-------|------|--------|-------|------|--------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 訪問型サービス | 999 | 1010 | 101.1% | 1018 | 1106 | 108.6% | 1039 | - | - | 1060 | - | - |
| 通所型サービス | 2029 | 2198 | 108.3% | 2089 | 2708 | 129.6% | 2152 | - | - | 2217 | - | - |
| 介護予防ケアマネジメント | 1780 | 1867 | 104.9% | 1900 | 2255 | 118.7% | 2000 | - | - | 2100 | - | - |

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|----------|-------|-------|-------|
| 訪問型サービスA | 0 | 0 | 0 |
| 訪問型サービスB | 0 | 0 | 0 |
| 訪問型サービスC | 0 | 1 | 1 |
| 訪問型サービスD | 1 | 1 | 1 |
| 通所型サービスA | 1 | 1 | 1 |
| 通所型サービスB | 1 | 1 | 1 |
| 通所型サービスC | 1 | 1 | 1 |

総合事業利用は、計画値を上回り増え続けています。特に通所型サービスの増加が顕著です。しかし、サービスA（基準緩和したサービス）やB（住民主体による支援）の実施団体が増えていない現状です。2040年に向けて、このような社会資源の創出が重要であるため、生活支援体制整備事業との連携等により、積極的に働きかけていきます。

(5) 高齢者虐待防止への取組み【計画書P52】

関係機関の連携により早期対応ができた事例があります。地域住民への周知啓蒙も含めて、更なる連携強化に努めていきます。

(6) 安全・安心な地域づくり【計画書P53】

近年の高齢者をターゲットにした特殊詐欺等を防ぐために、葉山警察と連携し、注意喚起や相談活動等を実施していきます。また災害時に備え、これまで作成していた避難行動要支援者リストから個別避難計画の作成にシフトしていくため、ケアマネや民生委員等と連携し進めています。

さらに、各種感染症は依然として流行を繰り返しており、集団での蔓延を防ぐ方策を、介護関係機関と連携し引き続き講じていきます。

(7) 社会参加の促進【計画書P55】

引き続き、老人クラブやねんりんふれあいの集い事業への支援を行っていきます。また、高齢者に限らない生涯学習の活動についても、社会参加の場の選択肢を広げるための支援を行っていきます。

高齢者の社会参加についての実態把握のため令和7年度アンケートで実施する予定です。

(8) 就業の支援【計画書P56】

高齢者の就業の現状把握を令和7年度アンケートで実施する予定です。

(1) 認知症について理解する【計画書P57】

○ 認知症の普及啓発

世界アルツハイマー月間（9月）に併せたパネル展示を実施しました。



○ 認知症対策講演会【計画書P57】

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|------|-------|-----|------|-------|-----|--------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 実施回数 | 1 | 0 | 0.0% | 1 | 1 | 100.0% | 1 | - | - | 1 | - | - |

○ 認知症サポーター養成講座【計画書P58】

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 実施団体数 | 5 | 3 | 60.0% | 6 | 5 | 83.3% | 6 | 1 | 16.7% | 6 | - | - |

(2) 認知症の早期発見・早期対応

○ 認知症初期集中支援チーム【計画書P59】

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|-----------|-------|-----|--------|-------|-----|--------|-------|-----|--------|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 医師 | 1 | 0 | 0.0% | 1 | 0 | 0.0% | 1 | 0 | 0.0% | 1 | - | - |
| 保健師・看護師 | 6 | 5 | 83.3% | 2 | 4 | 200.0% | 2 | 5 | 250.0% | 2 | - | - |
| 社会福祉士 | 2 | 5 | 250.0% | 2 | 4 | 200.0% | 2 | 4 | 200.0% | 2 | - | - |
| 主任ケアマネジャー | 2 | 2 | 100.0% | 2 | 2 | 100.0% | 2 | 2 | 100.0% | 2 | - | - |

認知症専門医または認知症サポート医の確保が出来ず、現状チーム活動ができていません。支援が届いていない町民に対する訪問によるアプローチの他、活動の方法を検討していきます。

○ 認知症地域支援推進員

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|-----------|-------|-----|--------|-------|-----|--------|-------|-----|--------|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 保健師・看護師 | 6 | 5 | 83.3% | 4 | 4 | 100.0% | 4 | 5 | 125.0% | 4 | - | - |
| 社会福祉士 | 2 | 5 | 250.0% | 2 | 4 | 200.0% | 2 | 4 | 200.0% | 2 | - | - |
| 主任ケアマネジャー | 2 | 2 | 100.0% | 2 | 2 | 100.0% | 2 | 2 | 100.0% | 2 | - | - |

(3) 認知症予防事業の実施

○ 認知症等行方不明SOSネットワーク【計画書P60】

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|------|-------|-----|--------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 登録者数 | 80 | 81 | 101.3% | 88 | 80 | 90.9% | 97 | 65 | 67.0% | 106 | - | - |

○ 成年後見制度の利用促進【計画書P61】

成年後見に関する相談は年々増加しています。今後必要になる備えを理解し、社会資源等を選択できるよう社会福祉協議会と連携して、支援していきます。

また、終活サポート事業により制度について周知して参ります。

年齢を重ね介護が必要な状態となっても、可能な限り、暮らしていけるまちとする

(1) 高齢者への生活支援の充実

○ 緊急通報システム【計画書P62】

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|--------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 延べ利用者数 | 1220 | 1121 | 91.9% | 1230 | 1190 | 96.7% | 1240 | - | - | 1250 | - | - |

○ 配食サービス

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|--------|-------|-----|--------|-------|-----|-------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 延べ利用者数 | 360 | 382 | 106.1% | 370 | 321 | 86.8% | 380 | - | - | 390 | - | - |

○ 無料入浴サービス【計画書P63】

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|--------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 延べ利用者数 | 700 | 594 | 84.9% | 710 | 698 | 98.3% | 720 | - | - | 730 | - | - |

○ 在宅高齢者住宅改修助成事業

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|------|-------|-----|-------|-------|-----|--------|-------|-----|-------|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 助成件数 | 16 | 13 | 81.3% | 16 | 23 | 143.8% | 16 | 9 | 56.3% | 16 | - | - |

○ ふれあいごみ収集【計画書P64】

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 登録者数 | 68 | 53 | 77.9% | 71 | 54 | 76.1% | 75 | - | - | 79 | - | - |

○ 養護老人ホームへの措置

| | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|-----------|-------|-----|--------|-------|-----|--------|-------|-----|--------|-------|-----|-----|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 利用者数(年度末) | 2 | 2 | 100.0% | 2 | 2 | 100.0% | 2 | 2 | 100.0% | 2 | - | - |

(2) 日常的な見守り活動や助け合い活動の推進【計画書P65】

まちぐるみや事業をととして日常的な見守り活動を、引き続き行っていきます。また、孤独死対策としても見守り活動は重要であり、チラシを作成して見守りの視点を共有していきます。

(3) 介護人材の確保・育成【計画書P73】

令和7年度より開始した、介護職員現任キャリアアップ支援事業で、町内介護事業所職員対象に研修を実施しています。小中学生に対して、介護職の魅力発信についても、事業展開していきます。

(4) 医療と介護の連携【計画書P74】

逗葉地域医療センター内に逗子市と在宅介護医療連携相談室事業を委託設置し、コーディネーターを配置しています。自宅で最期を迎えることができる地域の体制づくりを推進して参ります。

4 施設整備について

(1) 地域密着型サービスの日常生活圏域ごとの見込量【計画書P81】

令和5年度～令和7年度の介護保険事業所の増設計画及び増設実績、令和6年度末現在の事業所数については、次のとおりです。

| | | 第8期 | | | 第9期 | | | | | | | | |
|--------------------------|------|-------|-----|------|-------|-----|------|-------|-----|------|-------|-----|-----|
| | | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | 令和8年度 | | |
| | | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 | 計画値 | 実績値 | 計画比 |
| 認知症対応型 通所介護 | 第1圏域 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| | 第2圏域 | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 1 | | |
| 小規模多機能 型居宅介護 | 第1圏域 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| | 第2圏域 | 2 | 2 | 100% | 2 | 2 | 100% | 2 | 2 | 100% | 2 | | |
| 看護小規模 多機能型 居宅介護 | 第1圏域 | 0 | 0 | - | 1 | 0 | 0% | 1 | 0 | 0% | 1 | | |
| | 第2圏域 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| 定期巡回・ 随時対応型 訪問介護看護 | 第1圏域 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | | |
| | 第2圏域 | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 1 | | |
| 地域密着型 通所介護 | 第1圏域 | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 1 | 1 | 100% | 1 | | |
| | 第2圏域 | 2 | 2 | 100% | 2 | 2 | 100% | 2 | 2 | 100% | 2 | | |
| 認知症対応型 共同生活介護 | 第1圏域 | 1 | 1 | - | 1 | 0 | 0% | 1 | 0 | 0% | 1 | | |
| | 第2圏域 | 2 | 2 | 100% | 2 | 2 | 100% | 2 | 2 | 100% | 2 | | |

※認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の値はユニット数

(参考) 特別養護老人ホーム入所待機者数の推移【P79】

(単位：人)

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------|-------|-------|-------|
| 待機者数 | 74 | 70 | 55 |

(各年度4月1日現在)

5 介護保険料について

○ 所得段階別第1号被保険者数

| 所得段階 | 第8期 | | | 第9期 | | | | |
|-------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|
| | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | |
| | 保険料額 | 被保険者数 | 構成比 | 保険料額 | 被保険者数 | 構成比 | 被保険者数 | 構成比 |
| | 年額/円 | 人 | % | 年額/円 | 人 | % | 人 | % |
| 第1段階 | 17,640 | 1,505 | 14.16% | 18,468 | 1,478 | 13.90% | 1,405 | 13.56% |
| 第2段階 | 26,460 | 683 | 6.42% | 28,382 | 698 | 6.57% | 710 | 6.85% |
| 第3段階 | 39,396 | 605 | 5.69% | 41,472 | 588 | 5.53% | 558 | 5.39% |
| 第4段階 | 55,860 | 1,498 | 14.09% | 57,024 | 1,440 | 13.55% | 1,338 | 12.92% |
| 第5段階 | 58,800 | 1,285 | 12.09% | 64,800 | 1,295 | 12.18% | 1,295 | 12.50% |
| 第6段階 | 73,500 | 1,121 | 10.54% | 73,872 | 973 | 9.15% | 908 | 8.77% |
| 第7段階 | 74,088 | 938 | 8.82% | 81,000 | 841 | 7.91% | 795 | 7.67% |
| 第8段階 | 74,676 | 710 | 6.68% | 86,832 | 739 | 6.95% | 775 | 7.48% |
| 第9段階 | 89,376 | 944 | 8.88% | 97,848 | 1,075 | 10.11% | 1,044 | 10.08% |
| 第10段階 | 90,552 | 497 | 4.68% | 109,512 | 530 | 4.99% | 567 | 5.47% |
| 第11段階 | 92,316 | 368 | 3.46% | 122,472 | 416 | 3.91% | 411 | 3.97% |
| 第12段階 | 102,900 | 148 | 1.39% | 136,080 | 171 | 1.61% | 178 | 1.72% |
| 第13段階 | 111,720 | 87 | 0.82% | 150,336 | 83 | 0.78% | 85 | 0.82% |
| 第14段階 | 123,480 | 91 | 0.86% | 165,240 | 121 | 1.14% | 113 | 1.09% |
| 第15段階 | 135,240 | 44 | 0.41% | 181,440 | 51 | 0.48% | 50 | 0.48% |
| 第16段階 | 147,000 | 107 | 1.01% | 200,880 | 131 | 1.23% | 127 | 1.23% |
| 合計 | | 10,631 | | | 10,630 | | 10,359 | |

(参考) 第9期計画期間中の所得段階区分

(各年とも年度末、令和7年度は11月1日現在)

| 所得段階 | 町民税 | 対象者 |
|-------|----------------|---|
| 第1段階 | 世帯非課税 | 生活保護受給者・町民税非課税の老齢福祉年金受給者 合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の者 |
| 第2段階 | | 合計所得金額+課税年金収入額が120万円以下の者 第1段階以外の者 |
| 第3段階 | | 第1段階、第2段階以外の者 |
| 第4段階 | 世帯課税で 本人非課税 | 合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の者 |
| 第5段階 | | 第4段階以外の者【基準段階】 |
| 第6段階 | 本人課税 | 合計所得金額が120万円未満 |
| 第7段階 | | 合計所得金額が120万円以上160万円未満の方 |
| 第8段階 | | 合計所得金額が160万円以上200万円未満 |
| 第9段階 | | 合計所得金額が200万円以上300万円未満 |
| 第10段階 | | 合計所得金額が300万円以上400万円未満 |
| 第11段階 | | 合計所得金額が400万円以上600万円未満 |
| 第12段階 | | 合計所得金額が600万円以上800万円未満 |
| 第13段階 | | 合計所得金額が800万円以上1,000万円未満 |
| 第14段階 | | 合計所得金額が1,000万円以上1,500万円未満 |
| 第15段階 | | 合計所得金額が1,500万円以上2,000万円未満 |
| 第16段階 | | 合計所得金額が2,000万円以上 |

○ 介護保険料収納状況

| 年度 | 区分 | 特別徴収※ | 普通徴収※ | 合計 |
|-------|------|-----------|----------|-----------|
| 令和5年度 | 収入済額 | 559,959千円 | 63,753千円 | 623,712千円 |
| | 収納率 | 100.0% | 90.4% | 98.9% |
| 令和6年度 | 収入済額 | 629,756千円 | 80,127千円 | 709,883千円 |
| | 収納率 | 100.3% | 91.9% | 99.3% |

※特別徴収：年金から介護保険料を差し引いて納めていただく徴収方法

※普通徴収：納付書で介護保険料を納めていただく徴収方法（過年度分を含む）

第 10 期介護保険事業計画の作成に向けた各種調査について

第 10 期葉山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定の基礎資料として、次の 5 つの調査を実施する。

| | 調査種別 | 目的 | 調査対象 | 抽出法等 |
|---|------------------|---------------------------------|--|------------------|
| 1 | 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 | 日常生活圏域ごとの、地域の抱える課題の特定（地域診断）に資する | 2026 年(令和 8 年)1 月 1 日現在で要介護認定(要介護 1 以上)を受けていない 65 歳以上の高齢者約 8,660 人から、無作為抽出した約 3,000 人。 | 層化無作為抽出法 郵送調査 |
| 2 | 在宅介護実態調査 | 「家族等介護者の就労継続」・「要介護者の適切な在宅生活の継続」 | 2024 年(令和 6 年)12 月～2025 年(令和 7 年)12 月の間、在宅生活をしている要支援・要介護認定を受けている人のうち、更新あるいは区分変更申請に伴う認定調査を受けている約 600 人。 | 悉皆調査 郵送調査 |
| 3 | 在宅生活改善調査【新】 | 「家族等介護者の就労継続」・「要介護者の適切な在宅生活の継続」 | 居宅介護支援事業所 小規模多機能型居宅介護 地域包括支援センター | 全事業所 |
| 4 | 居所変更実態調査 | 「住み慣れた施設等における生活の継続」 | 居住・施設系サービス事業所 | 全事業所 |
| 5 | 介護人材実態調査 | 「介護人材の確保、適切な役割分担の実現」 | 4 の対象に加え、通所・訪問サービス、小規模多機能型居宅介護、定期巡回随時対応型訪問介護看護の事業所 | 全事業所 |

○ 調査期間 : 2026 年(令和 8 年) 2 月 1 日～2 月 28 日

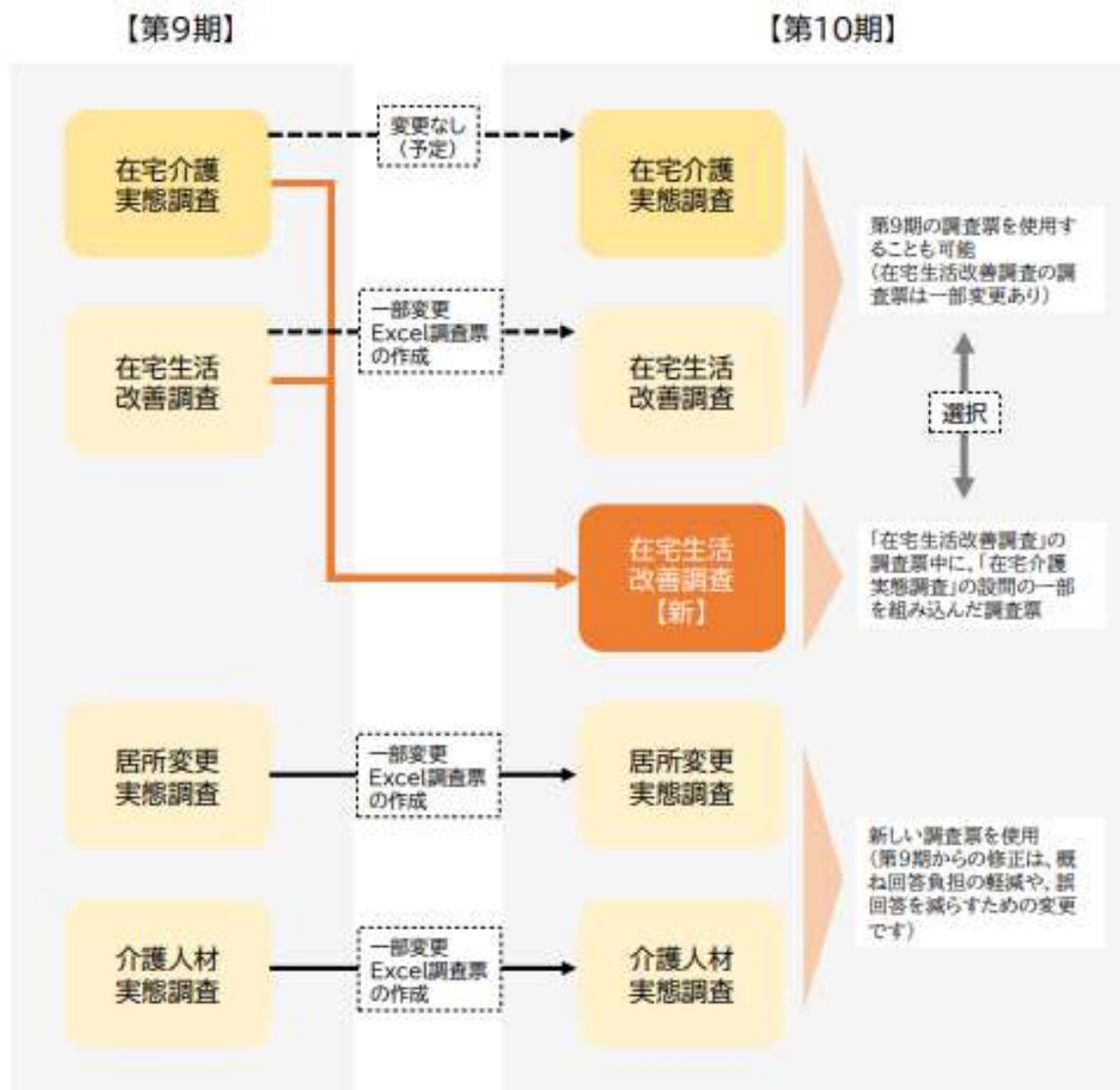
第1章 第10期計画の作成に向けた各種調査の見直し案

1 各種調査の見直し案の概要

本報告書では、第10期の介護保険事業計画(以下、第10期計画)の作成に向けて、その見直し案の1つとして、特に在宅介護実態調査が抱える課題に対応するため、従来の「在宅生活改善調査」の調査票内に、「在宅介護実態調査」の設問の一部を組み込むことで、いずれかの調査を選択できるようにすることを提案している(在宅介護実態調査の見直しの詳細については、第4章を参照)。

また、「在宅生活改善調査」、「居所変更実態調査」、「介護人材実態調査」の3調査については、上記以外にも、主に回答負担の軽減や誤回答を減らすことなどを目的とした一部の設問の変更を行った。

図表 1-1 第9期と第10期の変更点など¹⁾



3 各種調査の概要（見直し後）

各種調査の概要(見直し後)は、以下のとおりである。

図表 1-2 各種調査の概要(見直し後)

| | 在宅介護実態調査 | 在宅生活改善調査 | 在宅生活改善調査【新】 |
|-------------|--|--|---------------------------------|
| 目的 | 「家族等介護者の就労継続」・「要介護者の適切な在宅生活の継続」 | 「要介護者の適切な在宅生活の継続」 | 「家族等介護者の就労継続」・「要介護者の適切な在宅生活の継続」 |
| 対象となる高齢者の居所 | 自宅、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム | 同左 | 同左 |
| 回答者 | 要支援・要介護認定者(更新・区分変更申請をしている人)と家族等介護者 | 居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所・地域包括支援センターのケアマネジャー | 同左 |
| 調査方法 | ・「手法Ⅰ：認定調査員による聞き取り調査」を推奨 ・「手法Ⅱ：郵送調査(接続方式)」と「手法Ⅲ：郵送方式(非接続方式)」もあり | 原則として郵送調査 | 同左 |
| 回収票数(目安) | 600 件程度 | 調査対象が事業所であることから、できるだけ 100%回収を目指す。 | 同左 |

| | 居所変更実態調査 | 介護人材実態調査 |
|----------|--|---|
| 目的 | 「住み慣れた施設等における生活の継続」 | 「介護人材の確保、適切な役割分担の実現」 |
| 調査対象 | 住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、グループホーム、(地域密着型)特定施設、介護老人保健施設、介護医療院、(地域密着型)特別養護老人ホーム | 施設・居住系サービス、通所系サービス、訪問系サービス、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| 調査方法 | 原則として郵送調査 | 同左 |
| 回収票数(目安) | 調査対象が事業所であることから、できるだけ 100%回収を目指す。 | 同左 |

第 9 期(令和 6 年度～令和 8 年度)介護保険事業計画等運営委員会スケジュール (案)

| 年度 | 暦月 | 運 営 委 員 会 | 審 議 依 頼 予 定 事 項 |
|----|----|---|---|
| 6 | 4 | ○第 1 回運営委員会 | ○委員委嘱、○令和 5 年度の事業実績報告・第 9 期進捗状況、 ○今後のスケジュール検討ジュール検討 |
| | 5 | | |
| | 6 | | |
| | 7 | | |
| | 8 | | |
| | 9 | | |
| | 10 | | |
| | 11 | | |
| | 12 | | |
| | 1 | | |
| | 2 | | |
| | 3 | | |
| 7 | 4 | ○第 2 回運営委員会 | ○令和 6 年度の事業実績報告、○現状の問題点の整理 ○計画策定にかかるアンケート調査の内容検討 ～アンケートの実施～ |
| | 5 | | |
| | 6 | | |
| | 7 | | |
| | 8 | | |
| | 9 | | |
| | 10 | | |
| | 11 | | |
| | 12 | | |
| | 1 | | |
| | 2 | | |
| | 3 | | |
| 8 | 4 | ○第 3 回運営委員会 ○第 4 回運営委員会 ○第 5 回運営委員会 ○第 6 回運営委員会 ○第 7 回運営委員会 | ○令和 7 年度の事業実績報告、○アンケート結果の分析 ○第 10 期計画策定に向けた課題検討 ○第 10 期計画の方向性の検討 ○施設整備計画の検討、○計画の骨子の検討 ○計画素案の検討、○介護保険料の検討 ～パブリックコメントの実施～ ○介護保険料の設定、○パブリックコメントの結果報告 ○第 10 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定 |
| | 5 | | |
| | 6 | | |
| | 7 | | |
| | 8 | | |
| | 9 | | |
| | 10 | | |
| | 11 | | |
| | 12 | | |
| | 1 | | |
| | 2 | | |
| | 3 | | |